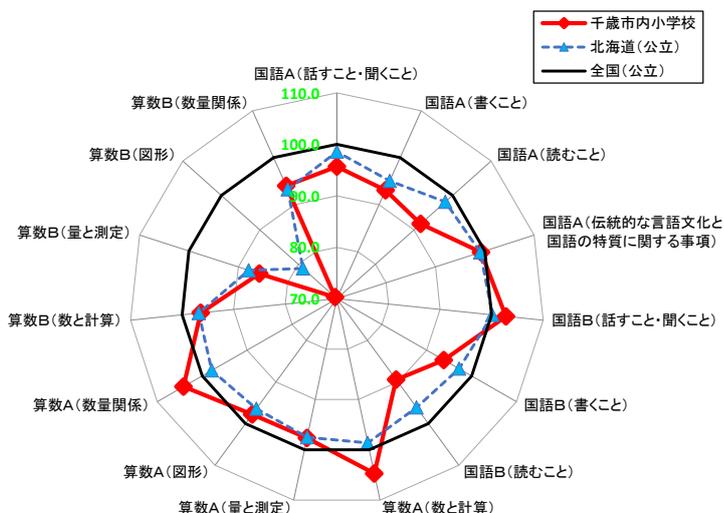


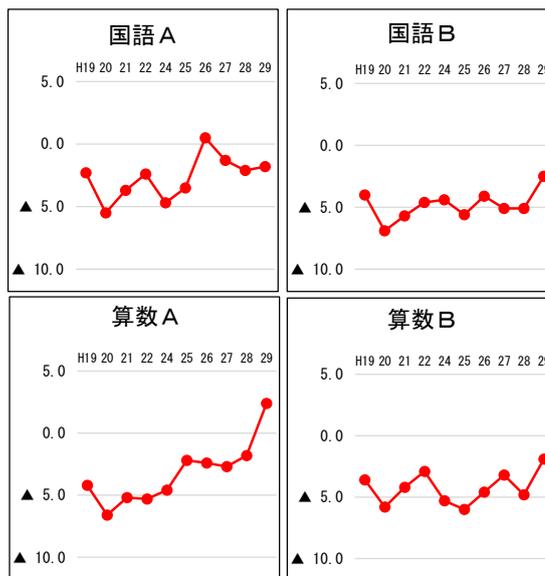
千歳市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:16校、児童数:868人)

【教科全体の状況】

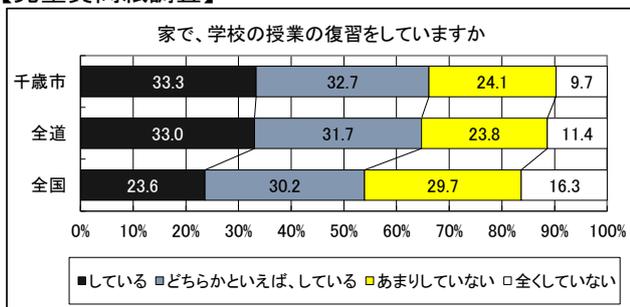
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



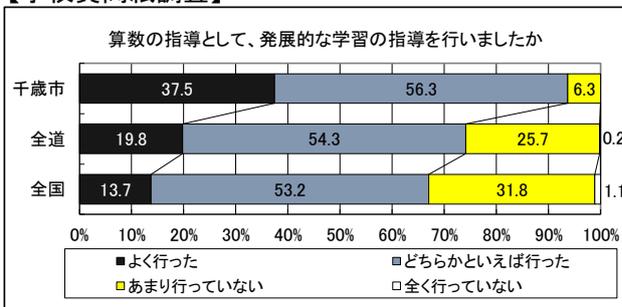
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

調査項目	分析内容
教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての教科において、前年度の平均正答率を上回っている。 ○ 国語Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」「数量関係」で全国を上回っている。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の指導として、発展的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。

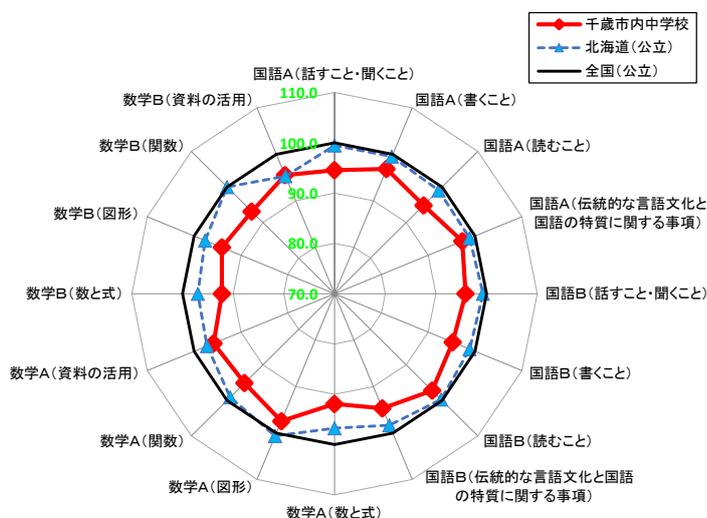
【千歳市の学力向上策】

- ◎ 学力向上の基盤となる学級経営の充実を図る「ハイパーQU」の実施
- ◎ 学力に関する課題について、家庭との共有を図る「学力向上パンフレット」の作成、配付
- ◎ 学習に対する関心、意欲を高めるICT機器の整備と教員向け研修の実施
- ◎ 学習支援員の配置などによる学習支援体制の強化

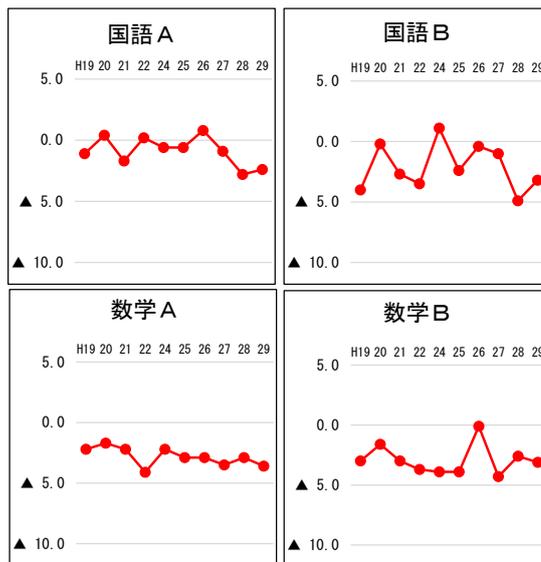
千歳市内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 8校、生徒数: 880人)

【教科全体の状況】

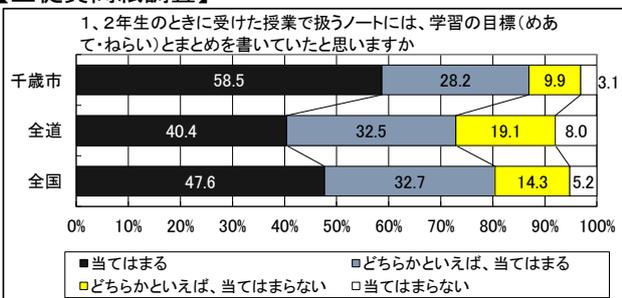
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



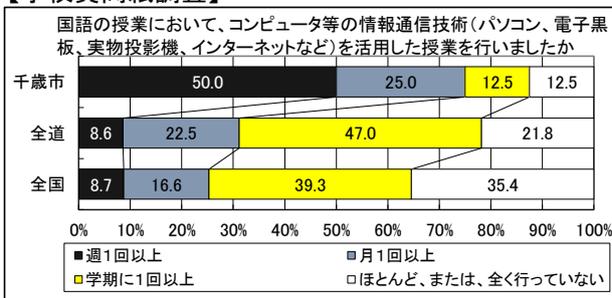
【平均正答率の全国との差の推移】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bにおいて、平成28年度の平均正答率を上回っている。 ○ 数学Bでは、「資料の活用」で全道を上回っている。 ○ 特に、数学Aでは、「数と式」、Bでは、「数と式」「関数」が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の授業で、日常的にコンピュータ等の情報通信技術(電子黒板や実物投影機、デジタル教科書等)を活用した授業を行ったことにより、学習内容の理解を深めることができ、国語A・Bで前年度の平均正答率を上回ったと考えられる。 ○ 各学校において、ノート指導等の授業改善の方策について、共通理解を図り、指導に生かしたことにより、ノートに学習の目標とまとめを書く生徒の割合が高くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1、2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていました」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の授業において、コンピュータ等の通信技術(パソコン、電子黒板、実物投影機、インターネットなど)を活用した授業を週1回以上行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【千歳市の学力向上策】

- ◎ 学力向上の基盤となる学級経営の充実を図る「ハイパーQU」の実施
- ◎ 学力に関する課題について、家庭との共有を図る「学力向上パンフレット」の作成、配付
- ◎ 学習に対する関心、意欲を高めるICT機器の整備と教員向け研修の実施
- ◎ 学習支援員の配置などによる学習支援体制の強化